

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2025(令和7)年
8月末発行

●連携コーディネーターの活動紹介

今月号では関西広域産業共創プラットフォーム事業の連携コーディネーターの活動をご紹介します。
今年度は6月末時点で計52回の対面、またはオンラインによる面談を実施いたしました。このうち、対面で実施した面談の様子をご紹介します。



面談中の様子

広域PFアドバイザー様より

●カーボンフットプリント算定講座 開催のご案内

近年、製品・サービスのカーボンフットプリント（CFP）の算定は、環境配慮にとどまらず、企業のリスク管理や事業機会創出の鍵となっています。本講座では、関西地域の企業が製品・サービスごとのCO2排出量を把握・算定できるよう、体験型ワークショップ形式でCFPの考え方と算定手法を学びます。共通テーマでのグループワークやデジタルツールの活用により、実務に即した形で効率よく企業のCFP自主算定を後押しし、脱炭素経営の裾野を広げます。知識のない未経験の方でも大丈夫です、CFPにご興味ある大手企業、中堅・中小企業の皆様のご参加をお待ちします。

【日程】第1回：2025年9月5日(金)15:00～17:00：セミナー「CFP（製品・サービスのカーボンフットプリント）算定を通じた企業価値の向上と脱炭素推進へ向けた地域の取り組み」（対面・オンライン）

第2回：2025年9月26日(金)13:00～17:00

：中小企業もできる、カーボンフットプリント算定ワークショップ（対面のみ）

【定員】第1回なし・第2回20名 ※1企業につき複数名でご参加いただくことが可能です。

【費用】無料

【参加対象地域】京都府、および関西地域各県

【対象】大手、中堅、中小企業におけるサステナビリティ推進担当者等（知識のない方でも大丈夫です）

【場所】龍谷大学深草キャンパス

【申込方法】以下のURLへ、9月3日（水）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/NWAeJZ7pjdJ3mveH7>

【主催】龍谷大学サステナビリティ推進室

【詳細】<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-17072.html>

～事務局便り～

暦の上では、8月は「葉月」と呼ばれ、葉が落ちはじめて秋の気配が感じられる「立秋」の月ですが、相変わらずの猛暑が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

この猛暑の中、万博は連日大盛況というニュースがあり、とてもうれしいですね。今後も、楽しく賑やかにそして順調に進行してほしいと期待しております。

さてPF活動の近況ですが、皆様の多大なご支援により順調に進んでおります。以前のニュースでも紹介しましたが、寄せられる相談件数は傾向としては着実に増加しております。また、昨年度から導入した「利用企業満足度」調査によりますと、満足（+大満足）のご回答が9割近くに上っております。PF事業開始時から、「小さな相談、大きなチャンス」をモットーに、どのようなご相談にも複数の連携CDが丁寧かつ全力で取り組んできました。この努力がこの数字に表れているものと、意を強くしているところです。

猛暑の中にあっても「葉月」の風情をしっかりと心に満たしながら、焦らず慌てず繊細に、ご相談者様の立ち位置に立ってPF活動を進めるべく事務局一同頑張っておりますので、引き続きのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

公設試発！News

透明ディスプレイに関する論文がアメリカ化学会の学術雑誌に掲載されました！

和歌山県工業技術センター

和歌山県工業技術センターの研究者による論文が、アメリカ化学会の「ACS Applied Optical Materials」に掲載されました。

【論文タイトル】

Transparent Projection Film Based on Light Scattering by Polyacrylate Nanoparticles Formed in Poly(vinyl alcohol)

<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acsaom.5c00170>

【概要】

和歌山県工業技術センターでは、第三期コア技術確立事業（次世代光制御フィルムの開発）として、映像投影に用いられる透明ディスプレイの開発を進めています。本研究では、ポリビニルアルコール樹脂中に形成するポリアクリレートナノ粒子の形状や分散状態を制御することによって、透明性と光拡散性を両立した透明プロジェクションフィルムの開発に成功しました。



【開発品】



【活用イメージ】

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.wakayama-kg.jp/news/2025/07/post-293.html>

京都府が持つ特許を利用した空間演出「THE CHAKAI」が「A' Design Awards 2025」Silver Award 受賞！

京都府織物・機械金属振興センター

京都府では、空間に吊るした薄く軽い織物が、微風で揺れ動くことを電気信号として検知し、揺れ動きに応じて映像や音楽を制御する技術等で特許を取得しています。

この技術を利用し、デザイナーや映像制作事業者と連携して制作した空間演出「THE CHAKAI」が、イタリアを拠点とする国際的なデザインコンペ「A' Design Awards 2025」で、Silver Award を受賞しました。本受賞に係る役割は、以下のとおりです。

- 当センター：特許技術、薄く軽い丹後ちりめん（ジャパン・テキスタイル・コンテスト2020 優秀賞）の製造
- (株)STUDIO KAZ：ディレクション、空間デザイン、「A' Design Awards 2025」受賞等
- (株)SWAG：インタラクティブ映像の制作



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://competition.adesignaward.com/168696>

<https://www.youtube.com/watch?v=2NZ1c60C45o>

電気加工学会全国大会賞を受賞しました

兵庫県立工業技術センター

材料・分析技術部の山口篤課長と、岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 特殊加工学研究室（岡田晃教授、篠永東吾助教）は、電子ビーム照射（EBポリッシング）を用いた金属3Dプリンタ造形物の表面仕上げに関する共同研究を実施しています。

このたび、金属3Dプリンタで造形したラティス構造体の表面仕上げに関する研究発表が高く評価され、「電気加工学会全国大会賞」を受賞しました。

賞の名称：（一社）電気加工学会 2024年度(第35回)

電気加工学会全国大会賞

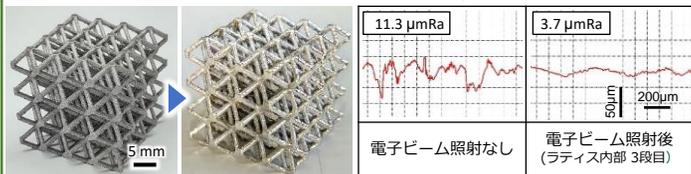
受賞題目：EBポリッシングによる金属AMラティス構造体の圧縮強度向上

受賞者：兵庫県立工業技術センター 山口篤、

岡山大学 篠永東吾、三浦誠也、岡田晃

受賞日：令和7年6月13日

電子ビーム照射なし 電子ビーム照射後 AMed Al-12Si, $E_p=15\text{J}/\text{cm}^2$, $N=15\text{shots} \times 4$, with yokes



金属3Dプリンタで造形したラティス構造体

ラティス柱表面の表面粗さ曲線

磁場制御下で電子ビームを照射することで、金属3Dプリンタで造形したラティス構造体内部の表面粗さを低減できることを分かりました。

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.hyogo-kg.jp/research/item3354>

バルブ技術者セミナー第6回「水道法とバルブ（取水から蛇口まで）」を開催します

滋賀県東北部工業技術センター

バルブ技術者セミナーは、バルブに関する専門知識を初心者でもわかりやすいように噛み砕いて解説するセミナーです。

第6回は、「水道法とバルブ」がテーマです。水道法で定められたバルブの技術基準、取水から蛇口までの水道設備、水道事業用バルブ・配管の種類、日本の近代水道事業の歴史など、幅広い内容を取り上げる予定です。

過去のセミナーに参加していない方にも理解していただける内容で、初級～中級程度の難易度です。

【日時】令和7年9月12日（金）13:15～16:30

【定員】約30名（先着順）

【参加費】無料

【場所】滋賀県東北部工業技術センター彦根庁舎
（滋賀県彦根市岡町52番地）3階研修室

【主催】滋賀県東北部工業技術センター

【共催】滋賀バルブ協同組合

【講師】配管・バルブコンサルタント 小岩井隆様

※セミナーチラシPDFはこちら

barubuseminaDi_6Hui_An_Nei_chirashi.pdf

※セミナーのお申込みはこちら

<https://www.hik.shiga-irc.go.jp/info/news/r7-valve06>